

令和2年度 第8回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日 時】 令和3年3月24日（水） 17:00～18:00

【場 所】 厚田総合センター2階ホール

【出席者】 14人（15人中）

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	築田 敏彦	○	委員	加藤 亞弓		委員	角野 亮太	○
副会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
委員	相原 雄太	○	委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	○
委員	東 幸子	○	委員	今 光江	○	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	八木沼 英晃	○

※会長・副会長を除き、あいうえお順

厚 田 支 所 ～東支所長・相原 根副課長・野田生学副課長

地域おこし協力隊 ～江崎隊員・吉川隊員・飯塚隊員・秋葉隊員

事務局（地域振興課）～高田課長・永塚主幹・佐藤主査・寺尾主査

【傍聴者】 1名

- 【次 第】
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 情報交換（リラックスタイム）
 4. 協議事項
 - ・厚田区における集落支援員制度の活用について
 5. 報告事項
 - ・厚田区地域おこし協力隊の募集結果について
 - ・厚田区地域おこし協力隊の退任について
 - ・市からの情報提供について
 6. その他
 7. 閉会

1. 開会

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

開会の前に、本日、加藤委員が欠席という連絡を受けているので報告する。

それでは、只今から第8回厚田区地域協議会を開催する。初めに築田会長から挨拶を申し上げる。

2. 会長挨拶

【 築田会長 】

皆さん今晚は、今年は雪がすごく多くて農家の方はハウスの除雪などで忙しい時期だと思う。大変疲れている中お集まりいただいて感謝する。コロナの関係もあるので出来るだけ早く終わりたいと思う。それでは早速始めたい。

3. 情報交換 (リラックスタイム)

・今年の鯉漁について～漁獲量としては全体的に昨年並み。厚田は好調だった。(相原委員)

・道の駅での協力隊パネル展について～昨年は一年間コロナ禍の中で大変だったと思うが、多くの活動をしていることが分かった。厚田の隊員だけではなく、浜益の隊員の活動もわかって楽しかった。(東委員)

～ゆっくり見ることが出来た。知らなかった活動もたくさんあって参考になった。(小山委員)

～会場に隊員が交代でいいから、一人でもいて説明してくれたらよかった。(渡邊委員)

～活動の集大成としてパネルにしてもらい、ゆっくり見ることが出来て良い展示だった。(築田会長)

・協力隊OB今野さんのコンサートについて～地域の方や厚田学園の子どもたちが来ていた。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が楽しめる楽曲が演奏されていた。道の駅の館内も響きが良く、密にならずに楽しめた。(飯塚隊員)

・秋葉隊員企画のコーヒーの入れ方講習～参加者5人ぐらい。講師は協力隊OB野呂さんの奥様。同じ豆でも入れ方によって味が変わるのを実感出来る、楽しい時間になった。(森田委員)

・厚田学園について～3月13日卒業式。卒業生5名全員が無事高校に合格出来た。本日は終了式、離任式があった。義務教育学校なので小学校の卒業式はないが、前期課程の修了式を保護者も出席いただいた中で行った。また、道の駅テナントの石狩二三一^{ふみいち}の新品「厚田いなり」のパッケージデザインを厚田学園の3・4年生が手掛けたものが、いよいよ今週の土曜日から販売される。デザインの内容を紹介するポスターを子どもたちが作り、道の駅で展示しているので、ぜひ足を運んでもらいたい。(丸山委員)

4. 協議事項

厚田区における集落支援員制度の活用について

【 築田会長 】

厚田区における集落支援員制度の活用について、笹谷委員長から願います。

【 笹谷委員 (厚田区集落支援員制度検討委員会 委員長) 】

資料：厚田区における集落支援員制度の活用について (答申) により説明

厚田区集落支援員検討委員会、委員長の笹谷です。

昨年7月に地域協議会から「集落支援員制度の検討」についての諮問を受けた後、8月26日に地域住民9人による委員会を立ち上げ、この間、計11回の会議や先進自治体の視察、計8回の区内団体等との意見交換を行い、導入の方向性を導きだしたので、次のとおり答申する。

●答申内容

厚田区が将来の姿として目指す『近説遠来』の内、住民同士が共に支え合う仕組みを構築し、子どもから高齢者まで、楽しく暮らせる・暮らしてもらえる厚田、すなわち「近説」の実感・実現に向けて 集落支援員制度を活用すべきである。

検討の詳細は、別紙「厚田区における集落支援員制度の活用について」にまとめているので、こちらをご覧ください

きたい。

まず、①の制度活用により目指す地域は、先ほどお伝えした「近説」の実感・実現。

次に、②の支援員の役割は、基本的な活動・具体的な活動の2つに分けている。まず、基本的な活動は、地域の巡回・点検から課題を把握することとし、ここでは「交通」「子育て」「移住・定住」「困りごと」を地域課題の一例として挙げている。具体的な活動は、地域の巡回・点検で把握した課題を、支援員・地域・行政の三者で議論する場を設けて、互いに協力しながら解決する仕組みを構築するまでのトータルコーディネートとした。

③の支援員に求める人物像として、キーワードを3点あげ、地域の実情に詳しい人、郷土愛・愛着心を持ち合わせている人、何事にも情熱的かつ楽しんで取り組む人とした。

④の制度導入により期待される効果としては、いつまでも安心して暮らしやすい地域になる、これに尽きるのではないかと考えた。その結果、もしかすると人口流出が減少したり、移住する人が増えたり、今よく言われている関係人口、何らかの形でその地域や地域の人に関わることが拡大するかもしれないとの期待も込めている。

続いて⑤として、令和3年度（来年度）の検討内容を記載した。まず、意見交換会でも挙がっていた、既存団体との役割の重複や、ボランティアで頑張っている方などとの気持ちのズレを解消すること。次に、導入する地区・人数や地域での愛称など活動のさらなる具体化。最後に地域と上手く連携して活動できるようなプレイヤーの参画、ガイドラインについて検討していく。

⑥のスケジュールは、令和4年4月導入を目指した内容となっているので、各自ご覧いただきたい。

答申書の2に、協議の経過をまとめているので、こちらも各自ご確認いただきたい。
私からは以上です。

【 築田会長 】

只今、笹谷委員長から説明を受けた。今後の見通しについて細かく見えて来たと思うが、委員の皆さんから何か意見はないか。

【 全委員 】

特に意見なし

【 築田会長 】

なければ厚田区における集落支援員制度の導入については可ということによろしいか。

【 全委員 】

全会一致で承認

【 築田会長 】

それでは、厚田区地域協議会としては、本日の協議を以て、令和4年度から厚田区において集落支援員制度を導入することを可として決定する。検討委員会の皆さんにはここまで纏めていただき感謝する。令和4年度からの導入に向けて、引き続き笹谷委員長を筆頭に検討委員会の皆さんにもうしばらく力を貸していただき、活用の中身をより充実させていきたいと思う。市職員の皆さんには、円滑な制度導入に向けて調整等含めどうぞよろしく願います。

また、進捗状況については、時折、地域協議会の中で伝えていただきたい。
以上で協議事項の厚田区における集落支援員制度の活用についてを終了する。

5. 報告事項

厚田区地域おこし協力隊の募集結果について

【 築田会長 】

厚田区地域おこし協力隊の募集結果について、高田課長から報告願う。

【 (厚) 地域振興課 高田課長 】

12月24日から2月26日までの間募集を行った。厚田区、浜益区それぞれ1名ずつの募集に対して、厚田1、浜益2の応募があった。書類選考による一次選考を経て、3月18日石狩市役所にて、全員、二次選考の面接を行った。

浜益希望者は道内在住のため市役所で直接面接したが、厚田希望者は道外の神奈川県在住であり、首都圏で緊急事態宣言が延長されていたことから、リモートでの面接とした。

現在、可否について審査中であり、残念ながら本日皆様に結果をお伝え出来ない。次回の協議会において、結果を報告させていただくので、その旨をご了解願う。

厚田区地域おこし協力隊の退任について

【 築田会長 】

次に厚田区地域おこし協力隊の退任について、永塚主幹からお願いする。

【 (厚) 地域振興課 永塚主幹 】

本年度末を以て3名の隊員が退任することとなった。江崎隊員は卒業して厚田区内で就業することが決まっている。吉川隊員、秋葉隊員については、今後新たな場での活躍を期待する。

それでは退任する隊員から、一言ずつ挨拶をお願いする。

【 (厚) 地域おこし協力隊 江崎隊員 】

2018年の5月に厚田区に着任して、この3月で3年間の任期を終え卒業する。4月からは厚田産業に就職し、これからも厚田での生活を続けていく。厚田区でネイチャーガイドを目指して活動して来たが、残念ながら3年間でその夢は叶わなかったが、厚田区の皆さんに暖かく迎え入れていただき、これからもこの地域に住みたいと思い、就業することとなった。これからも時間があるとき、今までの活動を継続出来ればと思っているので、その際はご協力をお願いしたい。

3年間ありがとうございました。

【 (厚) 地域おこし協力隊 吉川隊員 】

2年間、地域の皆様に支えていただき、活動することが出来た。4月から岩見沢市観光協会です仕事をするようになった。厚田区での経験を活かして、ご協力いただいた皆様に恩返しができるよう、次の場所でも頑張っていきたい。

ありがとうございました。

【 (厚) 地域おこし協力隊 秋葉隊員 】

令和2年の5月に着任し、11ヵ月という短い間だったが、着任当初からコロナ禍で活動も制限され、私自身も何のために厚田に来たのか悩んだ日もあったが、厚田の皆さんに応援いただき、ワークショップ等も皆さんの力をお借りして開催することが出来た。今開催しているパネル展のパネルを作りながら活動を振り返る中で、地域の皆さんに支えられてここまで来れたというのを実感している。自分がやりたかったことを出来たかということ、出来なかったのかなという、残念な思いもあるが、厚田区で色々経験したことは貴重な思い出になった。

短い間だったがありがとうございました。

市からの情報提供について

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

※資料なし。口頭で説明

私の方から、令和2年度2月末までの道の駅の入館者数等について情報提供させていただく。

令和2年度当初はコロナ禍もあり、一番の稼ぎ時でもあるGW中に止む無く休業となったが、再開後は比較的好調で、観光バスなどの団体客は来なくなったものの、家族、友人など少人数での来場は例年以上となった。今年度2月末までの入館者数は、350,564人で、前年度の2月末と比べて83%、2月だけの入館者数は6,190人で前年同月比96%となっている。前年の3月は12,171人の来館者数だったことから、それを勘案して最終的に362,000人程度、最終的に前年度比84%程の入館者数になると予測される。ちなみに4～7月までは前年度比52%という数字であり、これから考えると後半かなり盛り返したと言える。

また、売り上げについても、2月末までで前年度比85%となっている。今年の3月は売り上げも好調と聞いており最終的に前年度比86%程を見込んでいるとのことで、営業利益では黒字を確保出来る見通しとのこと。

その他、R3年度の新しい取り組みで、道の駅を基点とした北部地域周遊事業を行う。道の駅に名刺サイズの観光施設と北部地域の飲食店を紹介したカードを設置し、道の駅に来た人が、そこで観光や飲食店情報を入手して、市内の周遊につなげるのが狙い。

私からは以上です。

【（厚）地域おこし協力隊 飯塚隊員】

※アツタツア－vol.10について

アツタツア－vol.10が完成したのでお手元に配付させていただいたのでご覧ください。Vol.5から毎号1,000部印刷しており、累計で6,000部を発行したことになる。そこそこ凄い冊数を皆さんに手に取っていただいていると思っている。現在これまでの総集編を制作中で、ジャンル毎にまとめて観光客が手に取って見たとき、その場所に行きやすい冊子として編集にあたっている。アツタツア－は来年度も作りたいたいと思っているが、他の活動も考慮して毎月発行ではなく、季節毎や数ヶ月毎などにして、その分ページ数を増やすなどを考えている。

【 築田会長 】

以上、市からの情報提供があったが、何か質問はないか。全体を通してでも結構。

【 小山委員 】

道の駅の情報ということで教えていただきたい。しばらくの間、工事が行われていてようやく形が見えて来たが、何の工事をやっていたのか詳しく知りたい。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

国土交通省では、子育て世代の応援や「道の駅」の防災強化等、道の駅の機能充実に取り組んでいる。現在、あいろーど厚田では妊婦向け屋根付き優先駐車場の設置工事が行われており、姿を見せたのはその施設。その他第1駐車場では災害時に使用するマンホールトイレ、道の駅2階の裏側、職員駐車場には貯水槽の設置工事、24時間トイレには授乳室の設置工事が行われており、工期はいずれも3月末となっている。発注は北海道開発局。

6. その他

【（厚）地域振興課 高田課長】

次回の日程については、4月22日（木）18時00分から、望来コミュニティセンターみなくる多目的ホールで提案させていただく。

7. 閉会

【 築田会長 】

本日はこれで終了する。委員の皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和3年4月22日（木）18時00分～ 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

令和3年4月22日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長

築田 敏彦